

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい (一般選抜(A方式))

中村学園大学〔教育学部〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 英文中の語の意味をつかみ、正しい同意語を選ぶ語彙力を問う。

第4問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第5問 会話の流れを正確に把握する力、情報を整理して英語の問いに答える力を問う。

第6問 自発的注意と受動的注意についての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合(漢文を除く)の範囲である。

第1問 現代文・評論 酒井直樹『日本思想という問題』からの出題。

漢字の書き取り、語の読みといった基本的な知識のほか、空欄補充、傍線部の説明、内容合致といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『源氏物語』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法といった基本的な知識のほか、傍線部の解釈、傍線部の説明、登場人物の意図や心情の把握といった読解問題で文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されており、センター試験よりやや易しいレベルの問題である。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 2次関数、データの分析、図形と計量・図形の性質、三角関数の分野からの出題。(1)は2変数の関数の最大値・最小値を求める問題。(2)は散布図の読み取りについての問題。(3)は線分の比と三角形の面積を求める問題。(4)は加法定理と三角関数の合成を用いて等式を満たす θ の値を求める問題。

第2問 整数の性質の分野からの出題。素因数分解、1次不定方程式、倍数、 n 進法に関する問題。

第3問 微分法・積分法の分野からの出題。条件を満たす接線の方程式や、直線と曲線で囲まれた図形の面積の比などを求める問題。

【世界史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した世界史Bの範囲から、時代・地域・分野ともに幅広く出題している。

第1問 現代史からの出題。20世紀の太平洋地域について、国際関係などに関する歴史事象を問う。

第2問 アジア史からの出題。中国周辺の諸民族を題材に、中国王朝およびその周辺地域の基本的な歴史事項を中心に問う。

第3問 ヨーロッパ史からの出題。フィレンツェの歴史を軸に、それを取り巻くイタリア・ヨーロッパ史を概観して問う。

第4問 テーマ史の出題。外来民と先住民を題材に、民族間の関わりやその過程において生じた歴史について問う。

【日本史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した日本史Bの全範囲から出題している。分野は政治・社会経済・文化・外交から出題している。

第1問 1大問を、A 橘三千代、B 二条良基、C 徳川和子、D 吉田茂の4人の人物を中心とした時代に分け、リード文の穴埋め・語句選択・年代整序・文章選択などの形式で問う。

第2問 古代～近代の産業の歴史について、センター試験形式で問う。

第3問 古代～近世の出来事や事件について、地図を使ってその所在を問う。

第4問 古代～近代までの文化史について、建築・彫刻を中心にセンター試験形式で問う。

【地理】

〈出題のねらい〉

地理Bの範囲から、幅広く出題している。資料をもとに思考力を問う。

第1問 東北地方の地形図をもとに、読図、気候、農業、人口、産業などから出題する。

第2問 世界と日本の工業に関して、さまざまな工業製品の立地と生産上位国、工業地域、日本の産業、都道府県別製造品出荷額などから出題する。

第3問 世界と日本の人口に関して、大陸別の人口動態、人口ピラミッド、中国の人口政策、男女別識字率、人口移動、都道府県別の生活関連統計などから出題する。

第4問 韓国に関して、気候、衣食住、文化、エネルギー・環境統計、韓国と北朝鮮の関係、工業都市などから出題する。

第5問 アフリカについて、地形、気候、農業地域、資源輸出、生活文化、都市の特徴などから出題する。

【化学基礎・化学】

〈出題のねらい〉

化学基礎、化学の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題で構成している。

第1問 化学基礎の中から、「化学と人間生活」「物質の構成」の分野の基礎的内容について、小問形式で問う。

第2問 化学基礎の中から、「化学結合」「物質と化学反応式」などについて、小問、および1つのテーマで3問程度の内容を問う。

第3問 化学基礎の「酸・塩基」に関する基本項目を小問形式で、また、「酢酸の電離度」をテーマとした項目を大問形式で問う。

第4問 化学基礎の「酸化と還元」に関する基本項目を小問形式で、「酸化還元滴定」をテーマとした項目を大問形式で問う。

【生物基礎・生物】

〈出題のねらい〉

栄養科学部は、生物基礎の全分野、および生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の分野から、基本的な内容を中心に出题する。

教育学部は、生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出题する。なお、第1問～第3問は、栄養科学部と教育学部とで共通問題である。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出题する。文章選択や語句選択、数値選択(計算)などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出题する。本問では、光学顕微鏡を使った細胞の観察や、細胞分画法などについて、数値計算など、基本的な知識や理解を問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出题する。本問では、ヒトの様々な器官について、そのはたらきを様々な観点から出题し、基本的な知識や理解を問う。

第4問 「生物の多様性と生態系」(生物基礎)

生物基礎の「生物の多様性と生態系」の分野の内容を中心に出题する。本問では、バイオームと生活形について、それらの関わりや暖かさの指数など、基本的な知識や理解を問う。